

今回は、【回復期リハビリテーション病棟ケア 10 項目】についてご紹介します。
【回復期リハビリテーション病棟ケア 10 項目】には、回復期にある患者さんへケアを提供する際に大切にしたい基本的な視点が盛り込まれています。



回復期リハビリテーション病棟ケア 10 項目

- 1.食事は食堂やデイルームに誘導し、経口摂取への取り組みを推進しよう
- 2.洗面は洗面所で、口腔ケアは毎食後実施しよう
- 3.排泄はトイレへ誘導し、オムツは極力使用しないようにしよう
- 4.入浴は週2回以上、必ず浴槽に入れるようにしよう
- 5.日中は普段着で過ごし、更衣は朝夕実施しよう
- 6.二次的合併症を予防し、安全対策を徹底し可能な限り抑制はやめよう
- 7.他職種と情報の共有化を推進しよう
- 8.リハ技術を習得し看護ケアに生かそう
- 9.家族へのケアと介護指導を徹底しよう
- 10.看護計画を頻回に見直しリハ計画に反映しよう



食事や排泄、入浴や着替えなどは、私たちが生活する上でかせないことです。それらの質が入院していることで低下しないよう考えられています。また、リハビリ技術を看護ケアに生かすことやご家族への介護指導を徹底するなど、回復期で特に力を入れている部分も項目にあがっています。

当病棟ではナースステーションに 10 項目を掲示しています。毎朝看護スタッフ全員で“その日特に大切にしたい”テーマをひとつ選び、唱和しています。急性期を過ぎ回復期にある患者さんが、在宅復帰を目指し今までの日常生活に少しずつでも近づくことができるよう取り組んでいます。



今日のご家族への指導があるので・・・
9番、『家族へのケアと介護指導を徹底しよう！』

